

「日本の夏の美を彩る金魚を学ぶ」

.....

暑い日本の夏をイメージすると思えば浮かぶのは
蝉時雨、入道雲、蚊遣り、スイカのように暑い季節そのもの
打上花火、浴衣、団扇、風鈴のように、知恵と工夫を凝らした暑さを乗り切る風物
そんな日本の夏の風情に欠かせないのが、「金魚」
ひらひら舞うように泳ぐ、可愛らしい姿が実に涼やか

じっとしていても汗が噴き出すような暑い夏
外出するのにも気力が要る季節
江戸時代にはすでに庶民にも愛好されていたといわれる金魚
エアコンも扇風機も無い時代
「家に帰れば愉しみが待っている」
と思っていたのかも

そんな大切な文化を支えてきた、弥富の金魚のいまを知ってみませんか

.....

日 時 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 10:00~15:00 (小雨決行)

場 所 弥富市総合社会教育センター 株式会社日本金魚卸売市場ほか

スケジュール

あいさつ 木曾三川 弥富への誘い 服部 彰文 弥富市長

木曾三川下流域の観光連携 飯野 光則 木曾川下流河川事務所長

講 話 「新品種作出 生きた芸術品を造る」 深見養魚場 深見泰範氏

「日本の文化を支える弥富金魚」 弥富金魚漁業協同組合 代表理事組合長 伊藤恵造氏

昼 食 <郷土料理体験 試食>

現地視察 金魚の競り市見学 (日本金魚卸売市場)

弥富ふるさとボランティアガイドとの交流ツアー 15:00 解散予定

備 考 駐車場有 弥富市総合社会教育センター南側 筏川右岸側
近鉄弥富駅・JR弥富駅から徒歩 20 分